

114
A 3925



厚文譯

方今府下ノ火災ノ防キ且ツ延焼ヲ極フニ左
ニケ條最モ注意ス可シ

第一街衢ヲ正シ道路ヲ廣スル事

第二府下建物ノ制ヲ定ムル事

一東京府下ノ道路總テ狹隘ニシテ街區モ亦

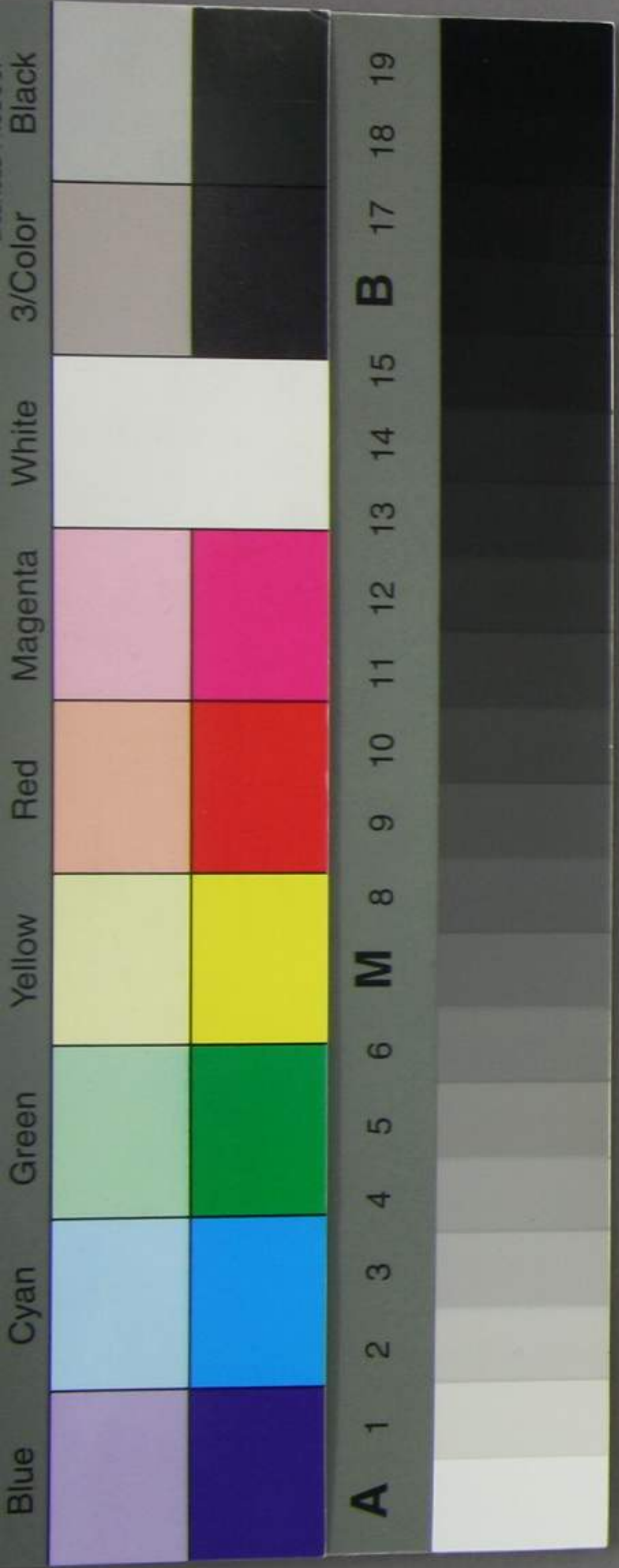
々錯雜セリ故、日用諸物ノ運輸甚々便ナラ

ス且ツ展觀店は俗ニ云路上ニ設ケ諸ノ通行ヲ妨

別裁

大正十一年四月
隈壽郵寄贈

4296



ク不意出火ノ變ニ當リ家ニ要具ヲ運搬
シ火焰ヲ避ルニ大ナル障碍ヲ生ス

一 世ノ文明日ニ進ニ從テ道路ノ通行諸物運
輸モ自ラ機械ヲ用スルニ因テ論スルヲ待タス且ツ馬
車人カ車等ノ如キモ日ニ増シ月ニ盛ナル亦
知ルヘシ然ニ街衢道路ノ制從前ノ如クニ
テ改サレハ車馬雜沓路上不意ノ怪叙ヲ
被ル者甚タ多カラシ故ニ街衢ヲ清潔ニ

シ道路ヲ平正堅硬ニスルハ實ニ今日ノ急務
ナルヘシ

一 府下本通ノ如キ重ナル街衢ノ路幅等概テ
第一圖ヲ以テ法トシ枝街ハ第二圖ヲ以テ法ト
シ行路ヲ三、分チ中一條ヲ馬車路トシ左右
ノ徃來^兩牛馬及ヒ車ヲ入ラ禁スヘシ

如此街路ノ制ヲ立テ且ツ商店ノ法ヲ定ムル
總テ路上店ヲ開ク者ハ秋カ戸外六十センチメートル

我二尺、アキル
ヲ越エハカラス又タ路傍ニ設ケタル
小屋ノ如キハ轆轤或ハ大小車輪ヲ以テ製
造シ變ニ臨ミ府内ノポリース一令ヲ下セハ忽
チ之ヲ運轉シ通行ノ自在ヲ得可シ

一從來建物ノ風ヲ改正シ煉化石或ハ石灰ヲ以
テ築造スルノ法ヲ施行スルハ此ノ機會ナリ

一日本ノ如キ屢地震スル國ハ政府ヨリ其國ニ
適當スル建物ノ制ヲ定ムヘシ先ツ二階アル

家ハ軒下ヨリ 柱礎マテセメートル 我三間五尺一寸ヲ以テ

定則トスヘシ然テ建物中ニ柱アリト 雖モ石

灰ヲ以テ塗テリ藏シ壁ハ煉化石ニテ組立テ厚

五寸サニチメートル 我一尺六寸五分 二階ハ壁厚サ

二十五サニチメートル 我八寸五分 定メ外雨戸ノ如キハ

ブリッキ板又ハ銅板ヲ以テ其外面ヲ覆フヘシ

一東京ノ如キ大ナル都府ハ歐羅巴ニ於テハ必ズ
建物ノ法則アリ巴利斯ノ如キハ最モ其制ヲ

嚴にして毎々建物ヲ免分スルノ官吏アリ是レ政府
ヨリ定メタル法ニ違ハル為メナリ我レ思フニ
如今煉化石ヲ以テ建物ヲ築造スルハ其入費大
ナルカ為レ或ハ之ヲ難スル者アラレ然レモ煉化
石ヲ用フル者多シハ隨テ之ヲ割取スル者亦
多ク終ニ其價モ亦タ自ラ廉ナルに至ルヘシ今
日本政府真ニ都府建物ノ法則ヲ定メ之ヲ施行
セント欲セバ巴利斯ニ施ス所ノ法ノ如ク政府ニ収ム

ル地稅ヲ其額ノ多少ニヨリ五年或ハ七年
ノ間之ヲ免スヘシ其法ハ佛蘭西曾テ内亂ニヨリ
國內ノ豪富其ノ有テ所ノ財ヲ固蓄ニ或ハ之
ヲ外國ニ借貸スト雖モ敢テ之自國ニ用ヒス
終ニ一般ノ融通ヲ妨ケ窮民其產業ヲナス
能ハサルに至ル故ヲ以テ千八百四十八年更ニ
其方法ヲ設ケ善ノ都府建物ノ制ヲ改正シ
政府ヨリ定タル如ク家屋ヲ改築スル者ハ

四年ノ間其地稅ヲ免スヘシトノ令ヲ下セリ
於是府下ノ富民一時其資財ヲ出タシ都
府ノ家屋ヲ改築シ隨テ窮民モ亦タ自ラ
業ヲ執キ其產直ヲ得一時大ニ融通ラナス
至ル

フロラン